

おすすめの本(3・4年生)

「せかいでいちばんつよい国」 デビット・マッキー(著) 光村教育出版
「せかいじゅうの人びとをしあわせにするため」にせかいじゅうをせいふくしたある大きな国のだいてりょうのおはなしです。 「どうやったら戦争がなくなるのか」平和を考える絵本です。
「しずくのぼうけん」 マリア・テルリコフスカ(著) 福音館書店
バケツからとびだした水のひとしずくは、長い旅に出ました。 はじめは裏庭でどっちへ走ってもほこりがいっぱいです。 きれいにしてもらおうとクリーニング屋さんやお医者さんに行きます。
「ネコのタクシー」 南部和也(著) 福音館書店
かいねこになったトムは、ご主人へのお礼にタクシーを始めます。 ケーキを運んだり、どろぼうを追いかけたりとゆかいなじけんに大いそがしです。
「アンディとらいおん」 ジェームズ・ドーハティ(著) 福音館書店
ライオンが大好きなアンディの前に本物のライオンがとび出してきた！ さあ、たいへん！でもアンディはなぜか平気な顔です。 それは、アンディとライオンは親友だったからです。
「はれときどきぶた」 矢玉四郎(著) 岩崎書店
小学生の則安くんは、日記を書いています。それをお母さんが読んでいることに気づきます。そこでお母さんをおどろかそうとハチャメチャな日記を書きます。すると本当におこってしまうのです！
「あたまをつかった小さなおばあさん」 ホープ・ニューウィル(著) 福音館書店
小さな黄色い家に住む小さなおばあさんは、とてもじょうずに頭を使ってなんでも解決してしまいます。お金のかかる羽ぶとんを買うかわりにがちょうを12羽買ったものの羽をむしるのがかわいそうになりました。おばあさんは、どう考えたでしょうか
「目の見えない犬ダン」 大西伝一郎(著) 学研プラス
「盲導犬は人を助けてくれるのに目の見えない犬はどうして捨てられるの？」 ダンボールに入れられて捨てられていた目の不自由な子犬を子ども達がすくいました。 感動のノンフィクションです。
「地球をほる」 川端誠(著) BL出版
「旅行しよう！」つよとけんたは、地球のうらがわに行くために地面にあなをほります。めざすはアメリカ！ほって、ほってついたところは…
「ルドルフとイッパイアッテナ」 斉藤洋(著) 講談社
ひよんなことからトラックにのってしまって遠い東京にきてしまったルドルフは、ボスねこと出会います。 「自分は顔が広いからあちこちでちがう名前がつけられている。 おれの名前はいっぱいあってな・・・」と聞くとルドルフは名前をイッパイアッテナとかんちがいしてしまいます。